

実態調査アンケートの概要

	高齢運転者の 実態調査アンケート	運転免許自主返納者の 実態調査アンケート	高齢運転者を家族に持つ 生活者へのアンケート
調査目的	高齢運転者の運転実態や自主返納等に関する意識調査を行い、調査結果等を基に、地域の実情等に応じた施策検討を行うための基礎資料とすることを目的に実施	実際に運転免許証を返納した方の意見を参考に、より効果的な対策を検討するための基礎資料とすることを目的に実施	「運転免許自主返納制度」の認知等を探るとともに、65歳以上で運転免許証を所有・返納した家族がいる方へ、家族側からみた意識、取り巻く環境を探ることを目的に実施
調査地域	京都府全域		
調査対象者	京都府下の各指定自動車教習所などで高齢者講習を受講した京都府内に居住する75歳以上の男女	運転免許自主返納後6ヶ月以上を経過した75歳以上の男女	京都府在住の18～74歳の男女2,886人を対象に実施後、調査条件に該当する65歳以上で運転免許証を所有もしくは返納した家族を持つ者
調査方法	調査用紙を配布し、自記式にて回答	高齢者家庭訪問活動時に聞き取り調査	インターネット調査
有効回答数	1,605人	310人	2,886人 ⇒ 580人
調査期間	平成29年4月5日～6月6日	平成29年5月15日～6月16日	平成29年6月26日～28日 ⇒平成29年6月30日～7月3日

実態調査アンケートの区分・エリア

地域	市区町村	居住地区分
京都市域	京都市北区	京都市北部
	京都市左京区	
	京都市右京区	
	京都市西京区	京都市西部
	京都市上京区	京都市中央部
	京都市中京区	
	京都市下京区	
	京都市東山区	
	京都市山科区	京都市東南部
	京都市南区	
	京都市伏見区	
山城地域（府南部地域）	宇治市	宇治・城陽エリア
	久世郡久御山町	
	城陽市	
	向日市	向日町エリア
	長岡京市	八幡・田辺エリア
	乙訓郡大山崎町	
	八幡市	
	京田辺市	木津エリア
	綴喜郡井手町	
	綴喜郡宇治田原町	
	木津川市	福知山・綾部エリア
	相楽郡精華町	
	相楽郡和束町	
	相楽郡笠置町	
相楽郡南山城村		
丹波地域	福知山市	福知山・綾部エリア
	綾部市	
	亀岡市	亀岡・南丹エリア
	南丹市	
	船井郡京丹波町	
丹後地域	舞鶴市	舞鶴エリア
	宮津市	宮津エリア
	与謝郡伊根町	
	与謝郡与謝野町	
	京丹後市	京丹後エリア



高齢運転者の実態調査アンケート結果 ①

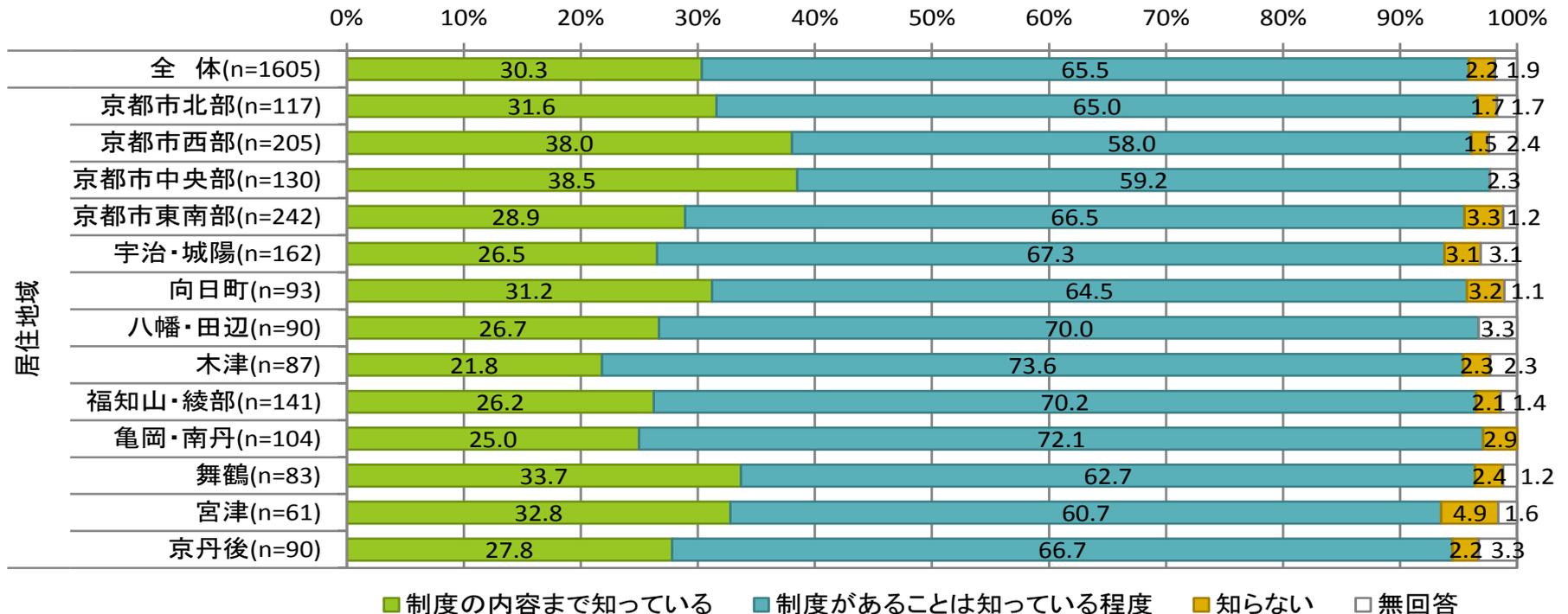
自主返納についての「認知・理解」「検討経験・きっかけ・理由」「返納意向」を調査

■ 「運転免許自主返納制度」について、認知率は9割以上あるものの、過半数が内容まで詳しく知らない状況。また、居住地域によって免許自主返納の検討経験や返納意向に差があることが判明。

○ 運転免許自主返納制度の認知・理解

京都府内における運転免許自主返納制度の認知状況について調査したところ、制度の認知率は95.8%となっております。しかし、その内「制度があることは知っている程度」が65.5%と大多数を占め、制度自体は知られているが、制度の具体的な内容まで理解している方はまだまだ少ない現状にあります。

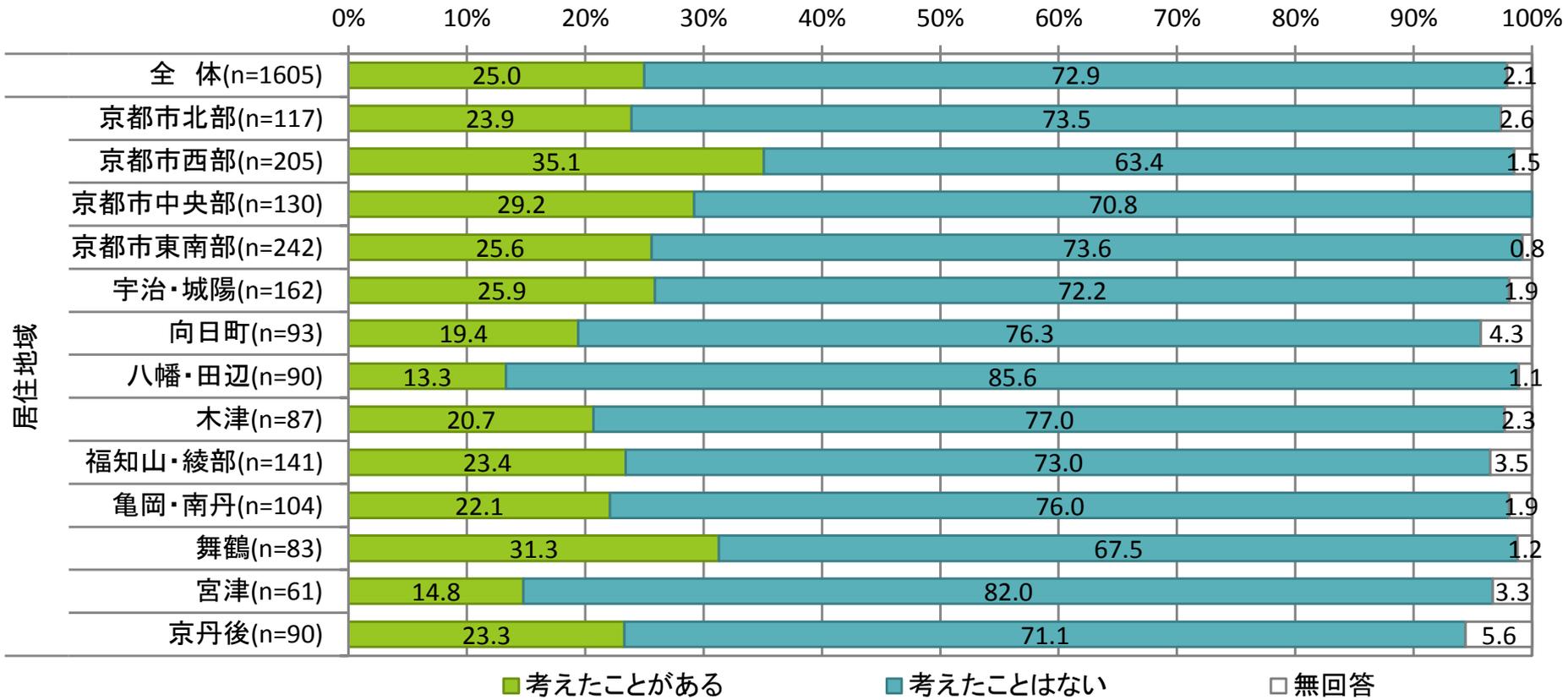
■ 居住地域別にみた運転免許証の自主返納制度の認知状況



○ 運転免許自主返納の検討経験

これまでに運転免許証の自主返納を考えたことがある人は全体の4分の1であり、考えたことがある割合が高い地域は、京都市西部35.1%、舞鶴31.3%、京都市中央部29.2%が上位3位となっております。反対に、考えたことがある割合が低い地域は、八幡・田辺13.3%、宮津14.8%、向日町19.4%となっております。

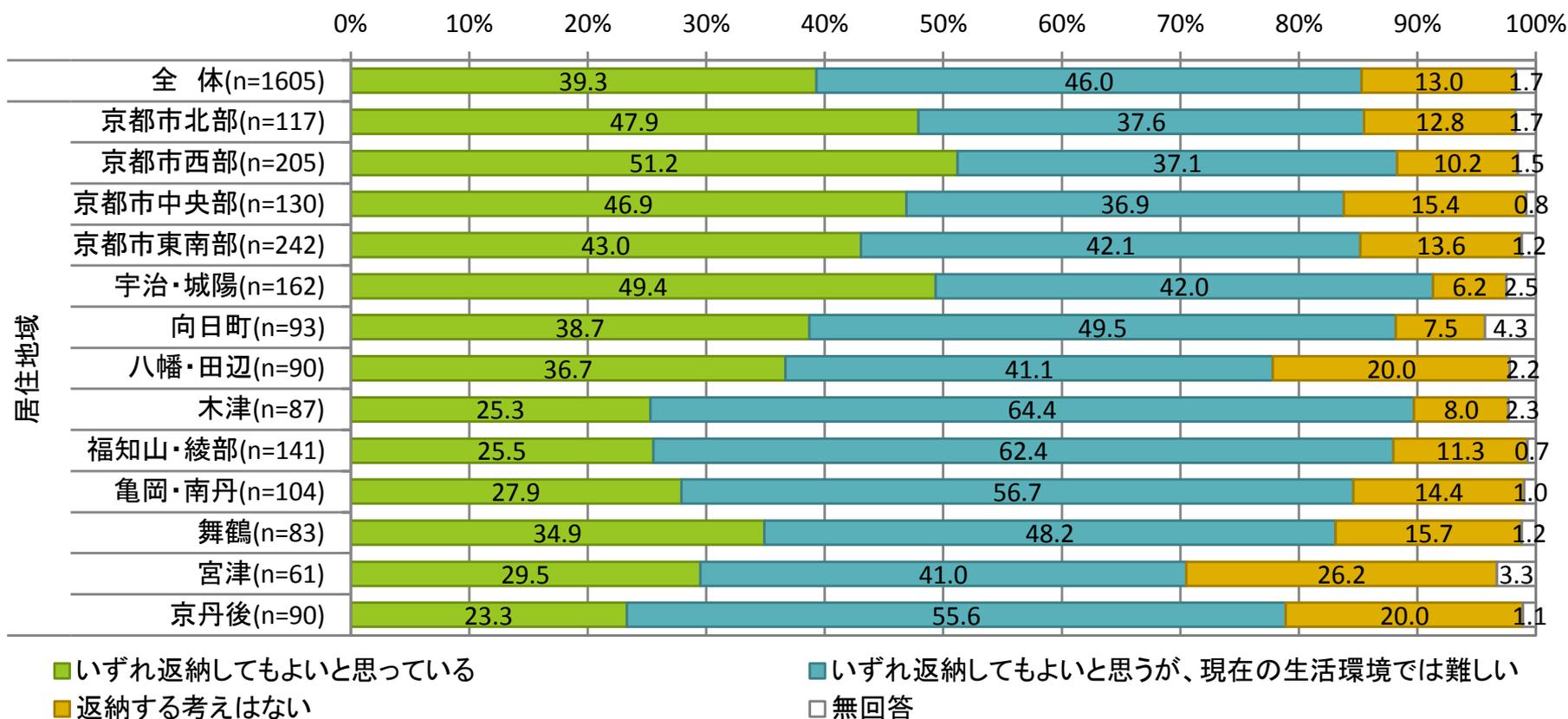
■ 居住地域別にみた運転免許証の自主返納を考えた経験の有無



○ 運転免許自主返納の検討経験、返納意向

運転免許証の自主返納の意向についてもうかがったところ、「いずれ返納してもよいが現状では難しい」が全体の5割弱となっており、京都市内と宇治・城陽以外の地域でその意向や「返納する考えはない」が高い結果となっております。さらに、宮津、京丹後、八幡・田辺は「返納する考えはない」が2～3割弱を占める結果となっております。

■ 居住地域別にみた運転免許証の自主返納の意向

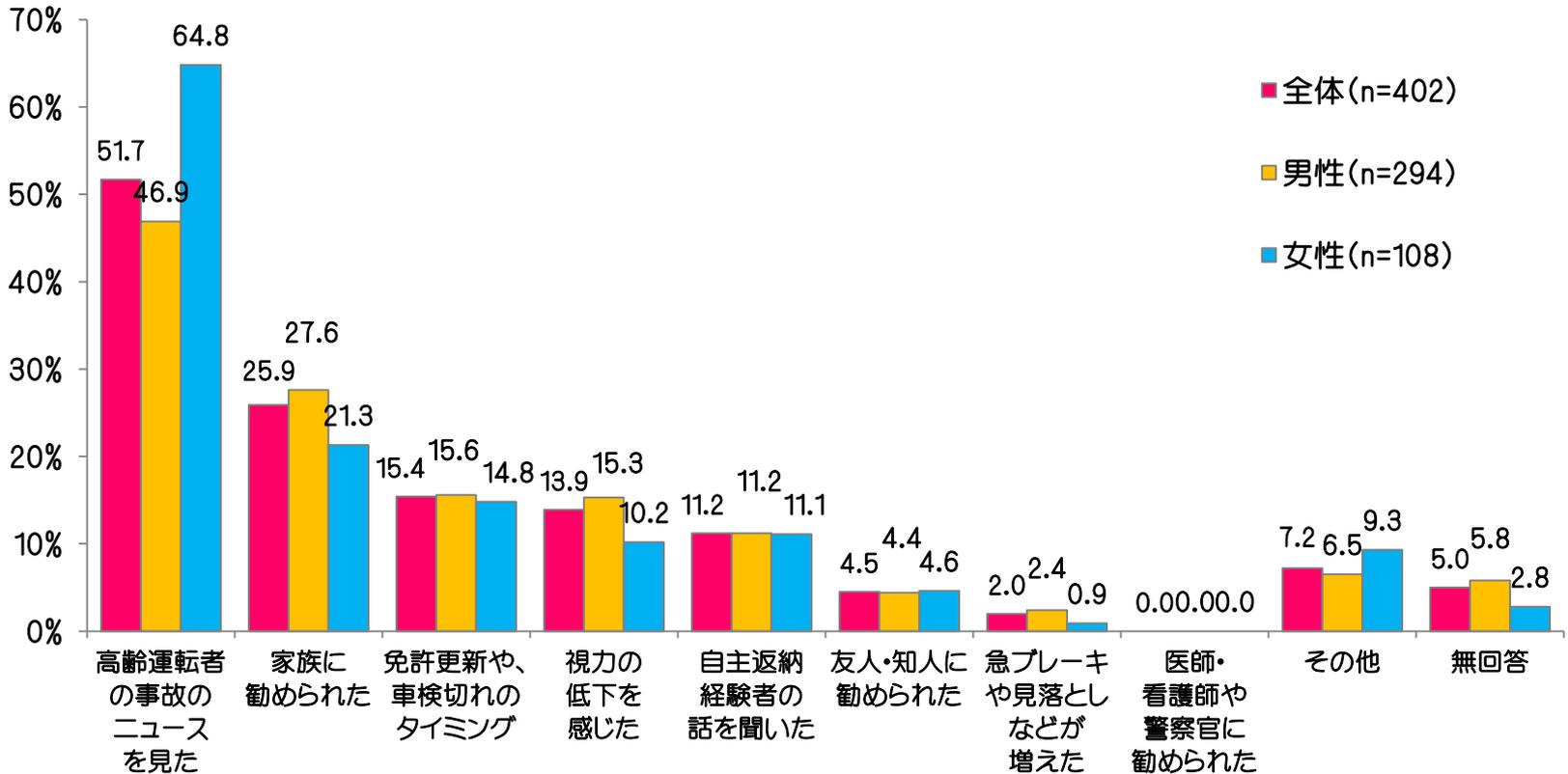


○ 運転免許自主返納の検討きっかけ・理由

運転免許証の自主返納を考えたきっかけや理由についてもうかがったところ、全体では「高齢運転者の事故のニュースを見た」が51.7%と最も高くなっています。

男女別では、女性は特に「高齢運転者の事故のニュースを見た」の割合が高く、男性は、女性より「家族に勧められた」「視力の低下を感じた」の割合が高くなっています。

■ 男女別でみた運転免許証の自主返納を考えたきっかけや理由(返納を考えたことがある人のみ/複数回答)



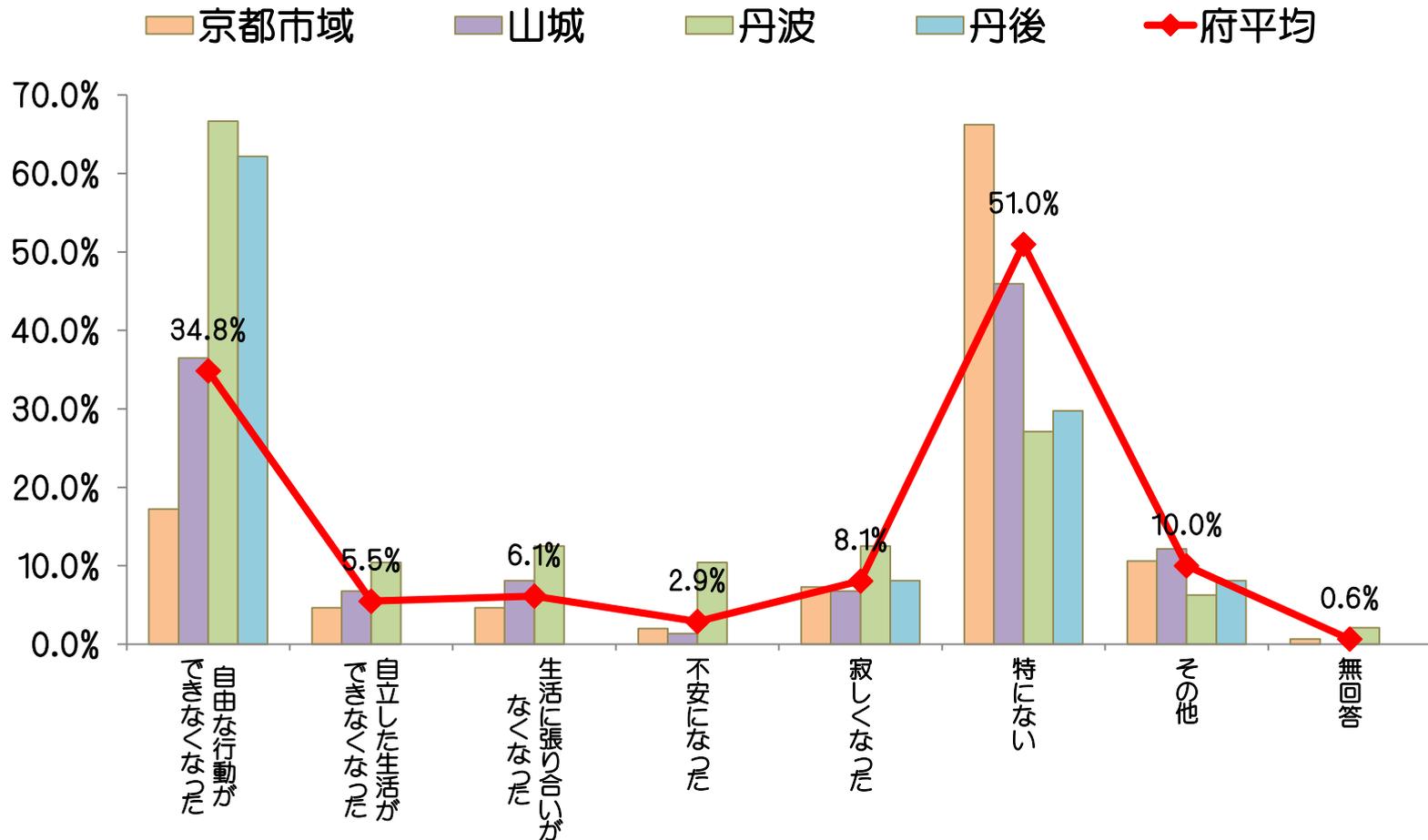
運転免許自主返納者の実態調査アンケート結果

■ 実際に運転免許証を返納したことによって、過半数の人は特に困っていないことが判明。

○ 運転免許自主返納後、困っていること

運転免許証を実際に返納した高齢者に対し、運転免許自主返納後、困っていることをうかがったところ、全体では「特にない」が半数を占めております。居住地域別では、京都市内では「特にない」が7割近くを占めて最も高くなっております。

居住地域別 返納後に困っていること

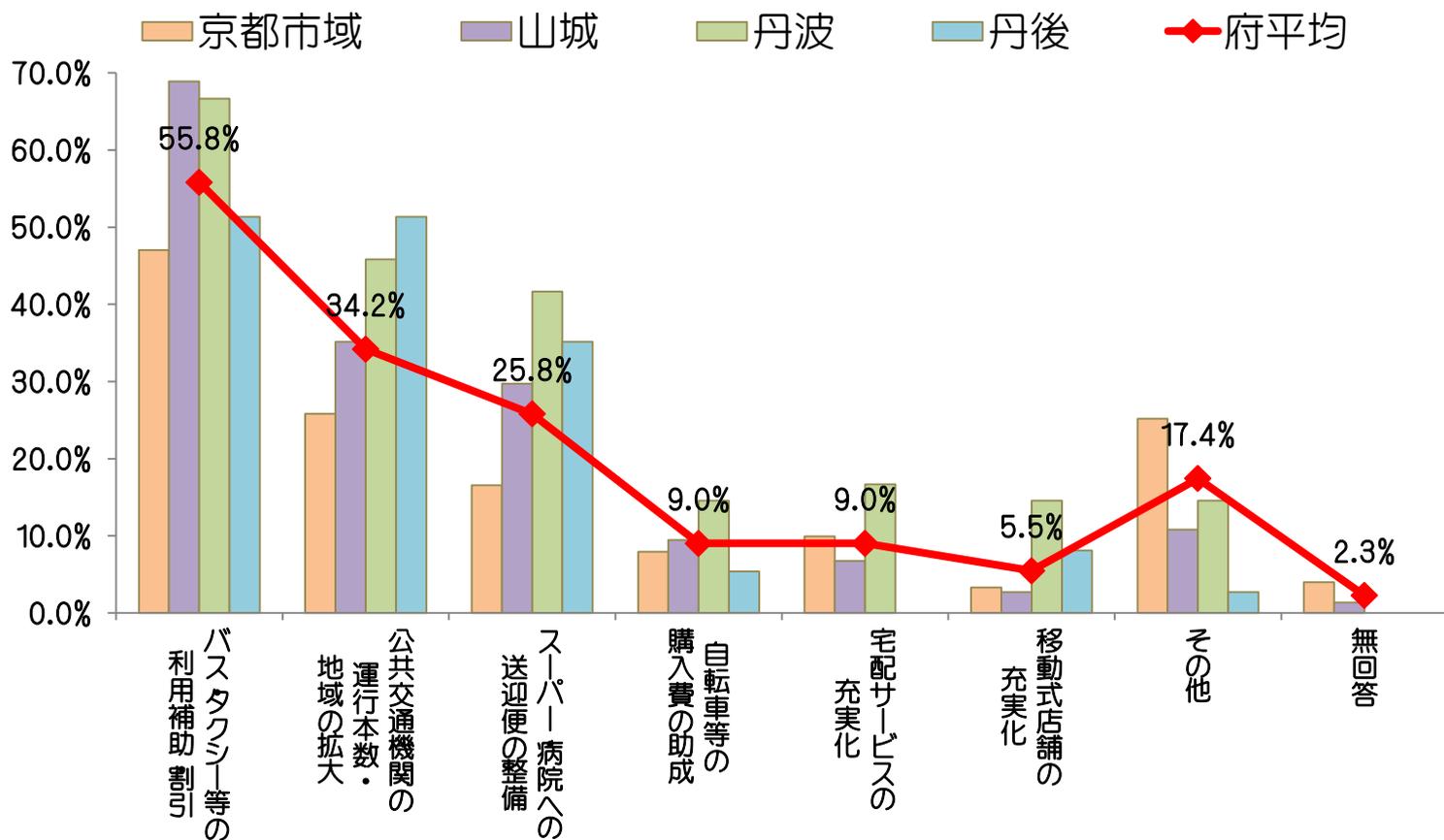


■ 運転免許自主返納後、必要と感じる制度は「バス・タクシー等の利用補助・割引」が大半という結果に

○ 運転免許自主返納後、必要と感じた制度

運転免許を実際に返納した高齢者に対し、運転免許自主返納後、特に必要と感じた制度をうかがったところ、全体では「バス・タクシー等の利用補助・割引」が過半数を超え1位。次いで「公共交通機関の運行本数・地域の拡大」「スーパー・病院への送迎便の整備」が2～3割を占めております。京都市内では「バス・タクシー等の利用補助・割引」が47%で一番高いものの、全体と比較すると少なくなっております。

居住エリア別 返納後に必要と感じた制度



高齢運転者を家族に持つ生活者の実態調査アンケート結果

■ 年齢が上がるにつれて運転免許自主返納制度の認知が上がる。

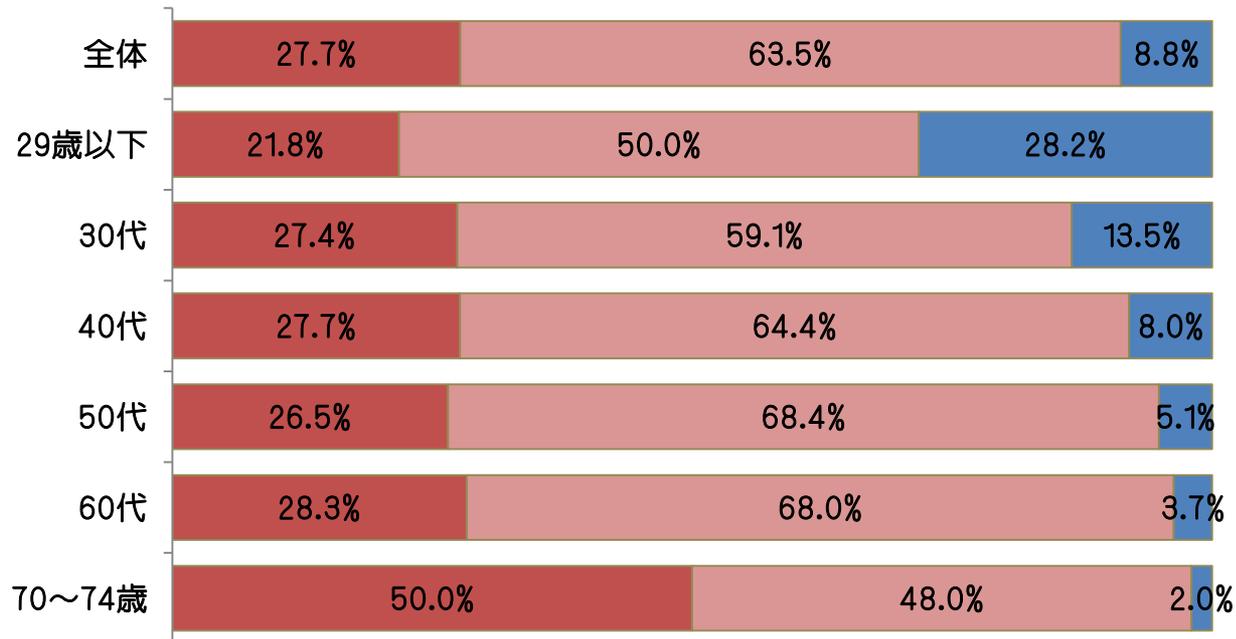
○ 年齢別「運転免許自主返納制度」知名・認知率

京都府在住者(n=2,886)へ「運転免許自主返納制度」の認知についてたずねたところ、全体では「制度があることは知っている程度」が63.5%でトップ。「制度の内容まで知っている」は3割以下となりました。

年齢別では、29歳以下では3割弱が「知らない」と回答し、年齢が上がるにつれ知名度は上昇している傾向にあります。

年齢別「運転免許自主返納制度」知名・認知率

■ 制度の内容まで知っている ■ 制度があることは知っている程度 ■ 知らない

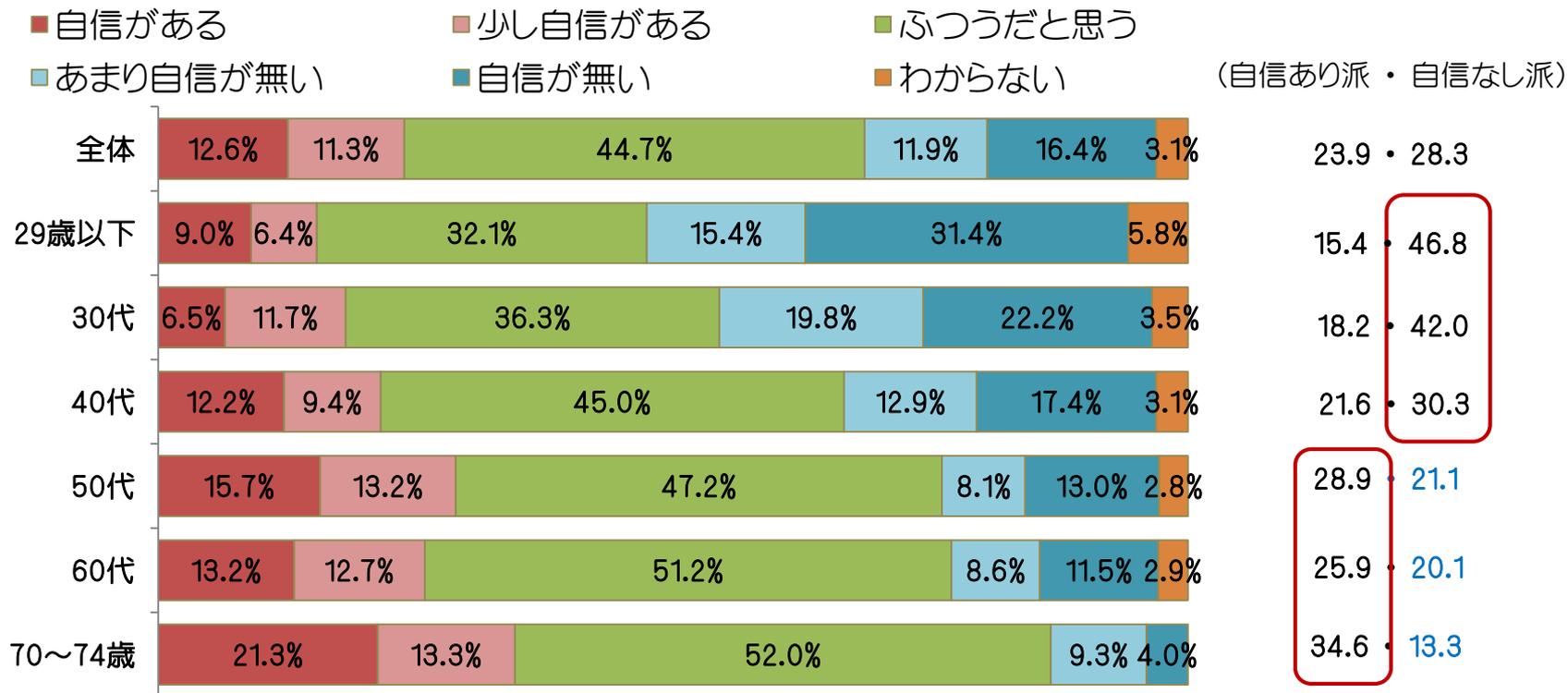


■ 年齢が上がるにつれて運転技術への自信が高くなる傾向にある。

○ 自身の車運転技術についての認識

京都府在住の免許保有者(n=2,405)へ、自身の車の運転技術についてどのように思うかがあったところ、『自信あり派』と『自信なし派』で比較すると、40代以下では『自信なし派』が高い一方で、50代以上になると『自信あり派』が上回っており、年齢が上がるにつれ「自信がある」と回答する比率が増える傾向にあります。特に70～74歳は3割以上が「自信がある」「少し自信がある」と回答しております。

自身の車運転技術についての認識



■ 高齢運転者が運転免許を自主返納しても、その家族は特に困らない人が大半

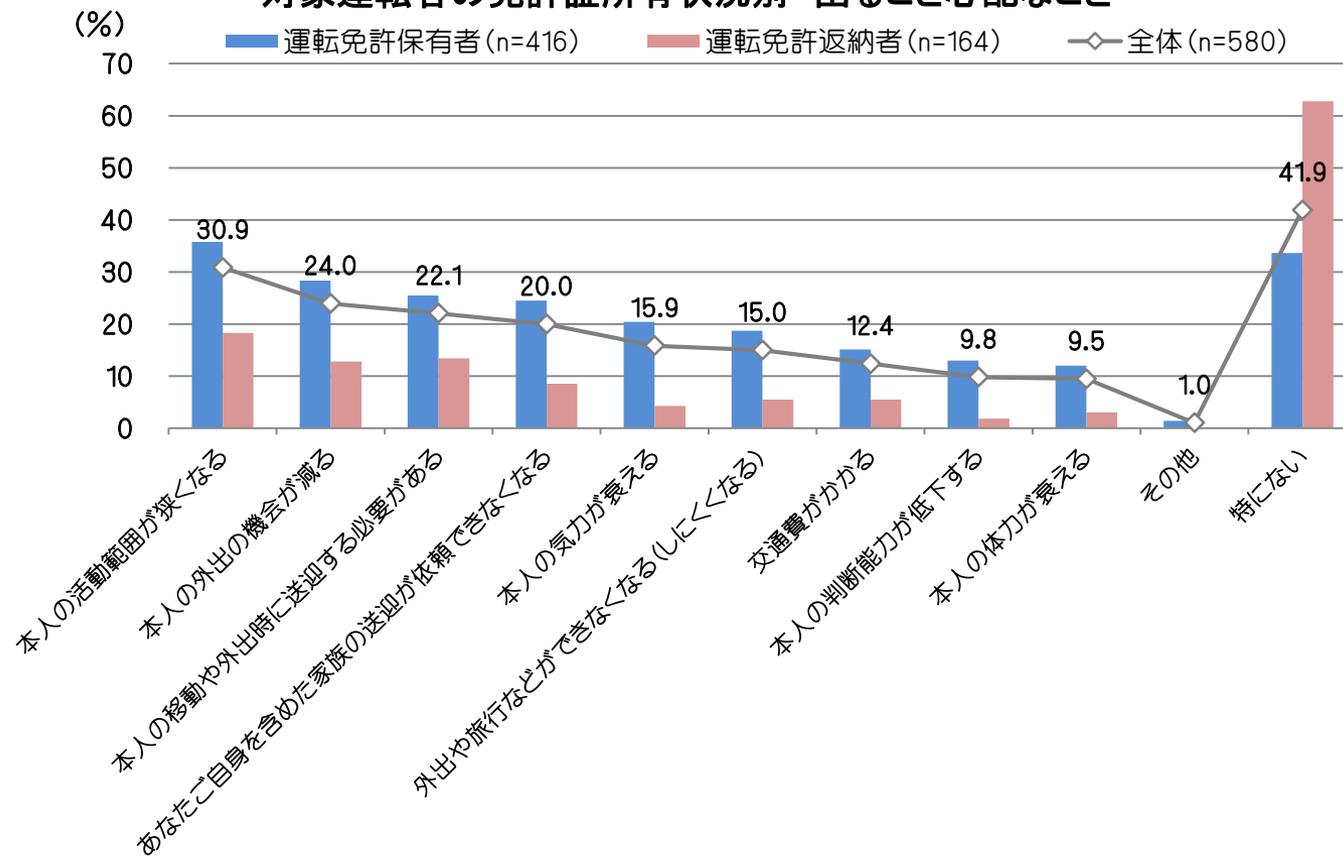
○ 運転免許証を返納すると困ったり心配だと思ふこと(困ったり心配だと感じていること)

高齢運転者のいる家族(n=580)に対し、運転免許証を返納するとどのようなことに困ったり、心配したりすると思ひますかとたずねたところ、全体では「特にない」との回答が4割強でしたが、既に運転免許証を自主返納した高齢者のいる家族(n=164)では、困ったり心配だと感じていることは「特にない」との回答が6割以上を占めております。

Q.「対象運転者」が運転免許証を返納すると、あなたご自身はどのようなことに困ったり、心配したりすると思ひますか。

「対象運転者」が運転免許証を返納したことで、返納前に比べてあなたご自身はどのようなことに困ったり、心配だと感じていますか。

対象運転者の免許証所有状況別 困ること心配なこと



高齢運転者の実態調査アンケート結果(各地域別まとめ)

京都市 (北区、左京区、右京区、西京区、上京区、中京区、下京区、東山区、山科区、南区、伏見区) 京都市 n=694
 京都府全体 n=1,605

代替交通手段となる「バス」のネットワークがあるためか、返納後の生活不安が低めで、自主返納意向は京都府下で最も高い。

自主返納制度の認知状況



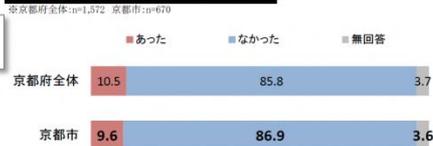
自主返納を考えたこと



自主返納の意向

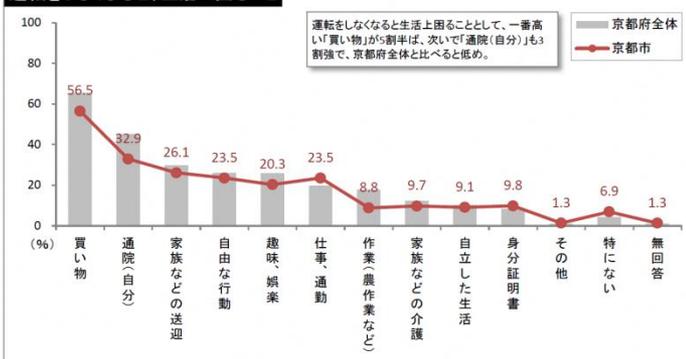


前回免許更新後の運転ミス・事故など

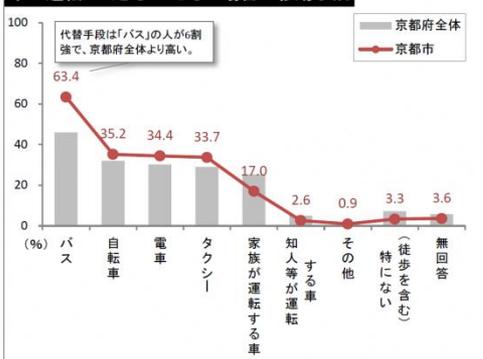


内円: 京都府全体
外円: 京都市

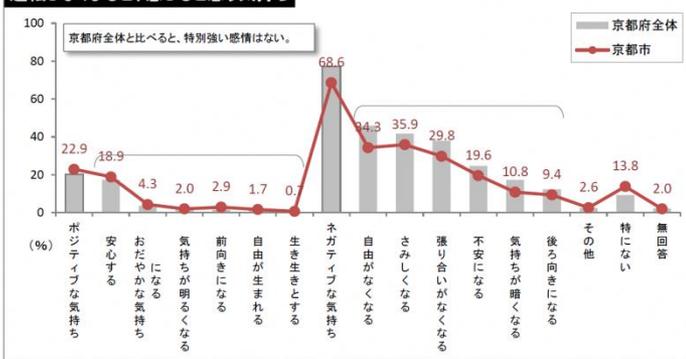
運転をしなくなると、生活上困ること



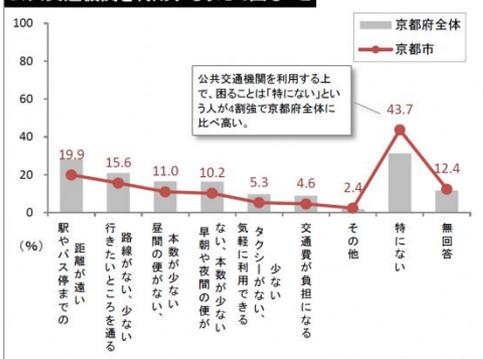
車の運転ができない・しない場合の移動手段



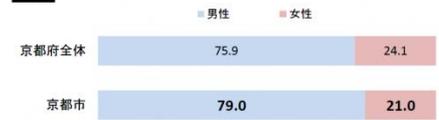
運転をしなくなると、感じると思う気持ち



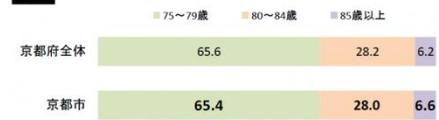
公共交通機関を利用するうえで困ること



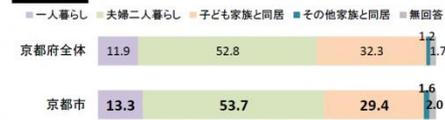
性別



年齢



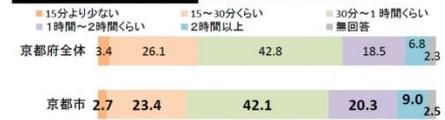
家族構成



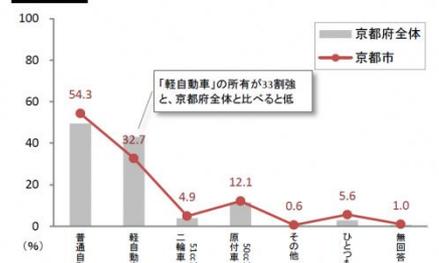
最近の運転頻度



一日当たり合計運転時間



所有車両



山城地域

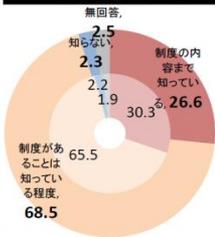
(宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

山城地域 n=432

京都府全体 n=1,605

代替交通手段として「電車」が最多であるものの、居住地によっては駅までの交通手段に困る地域があるとみられる。

自主返納制度の認知状況



自主返納を考えたこと

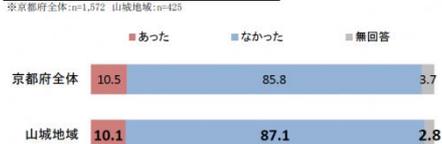


自主返納の意向

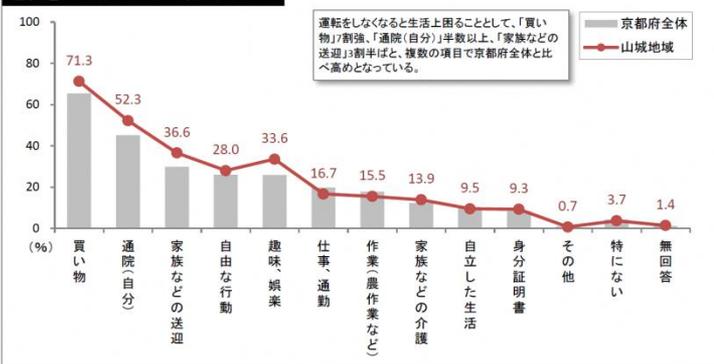


内円：京都府全体
外円：山城地域

前回免許更新後の運転ミス・事故など



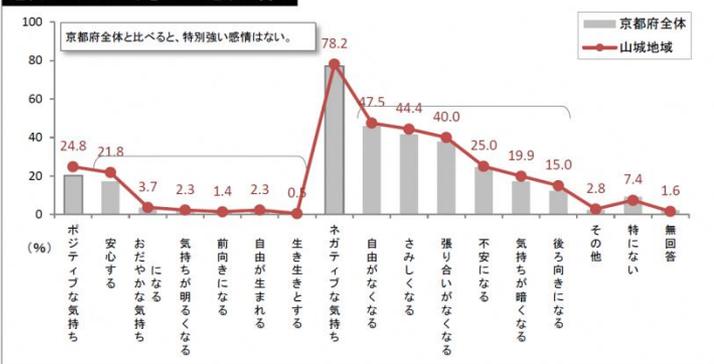
運転をしなくなると、生活上困ること



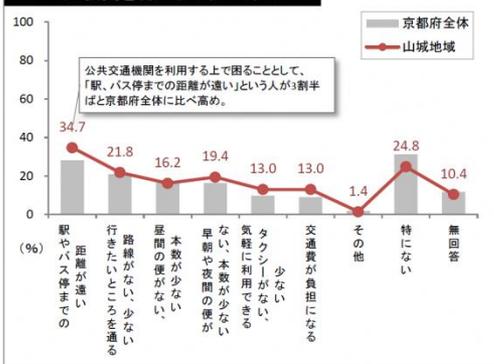
車の運転ができない・しない場合の移動手段



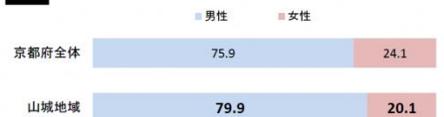
運転しなくなると、感じると思う気持ち



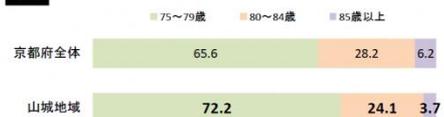
公共交通機関を利用するうえで困ること



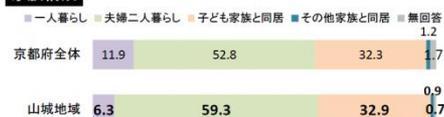
性別



年齢



家族構成



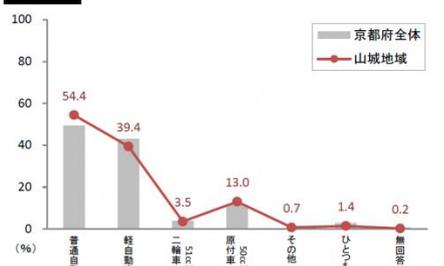
最近の運転頻度



一日当たり合計運転時間



所有車両

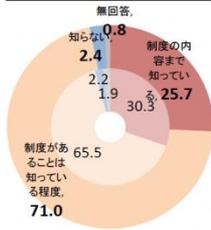


丹波地域 (福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、京丹波町)

丹波地域 n=245
京都府全体 n=1,605

代替交通手段は「家族が運転する車」が最多。公共交通機関の利用に不便が多く、生活上困ることも多いため、自主返納に消極的。

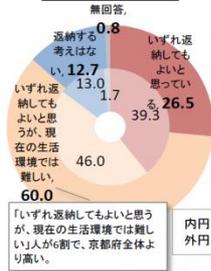
自主返納制度の認知状況



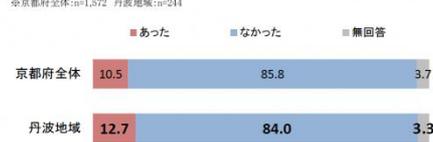
自主返納を考えたこと



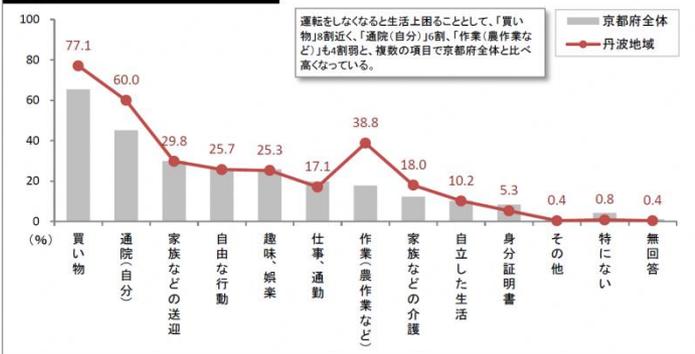
自主返納の意向



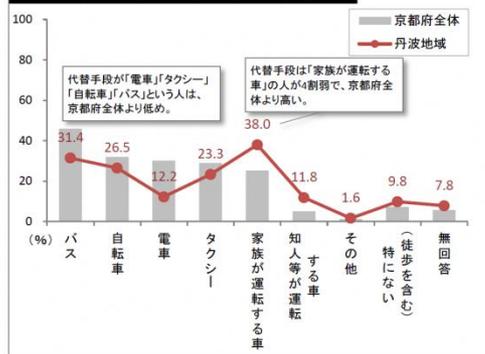
前回免許更新後の運転ミス・事故など



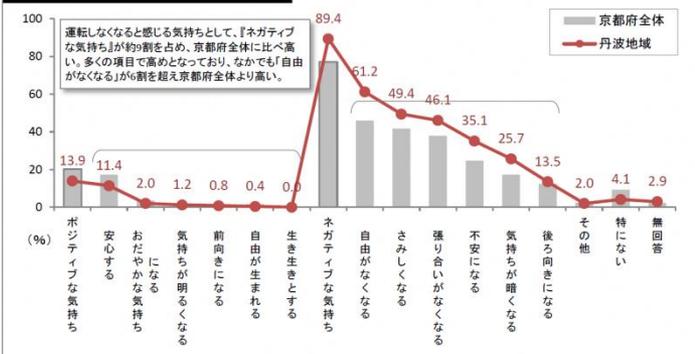
運転をしなくなると、生活上困ること



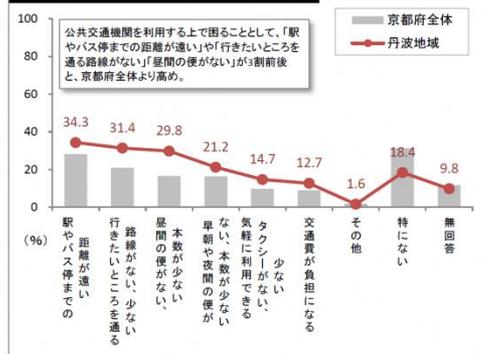
車の運転ができない・しない場合の移動手段



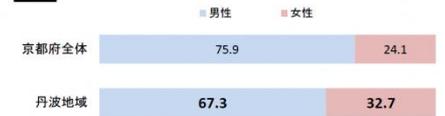
運転しなくなると、感じると思う気持ち



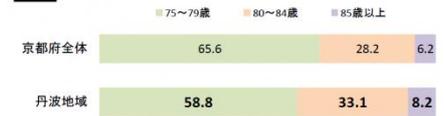
公共交通機関を利用するうえで困ること



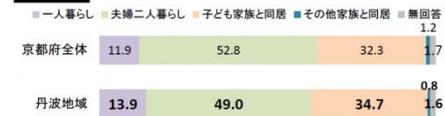
性別



年齢



家族構成



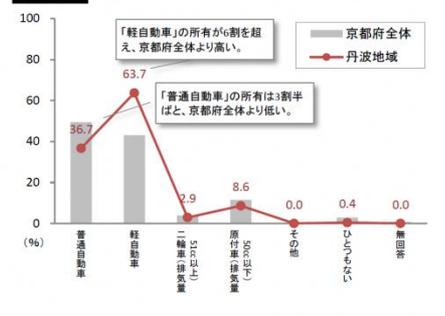
最近の運転頻度



一日当たり合計運転時間



所有車両

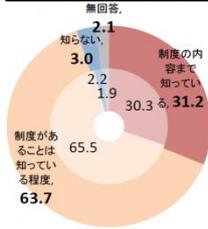


丹後地域 (宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、舞鶴市)

丹後地域 n=234
京都府全体 n=1,605

代替交通手段は「自転車」「家族が運転する車」が主で、公共交通機関での代替が難しく利用への不便さもみられ、自主返納に消極的。

自主返納制度の認知状況



自主返納を考えたこと



自主返納の意向

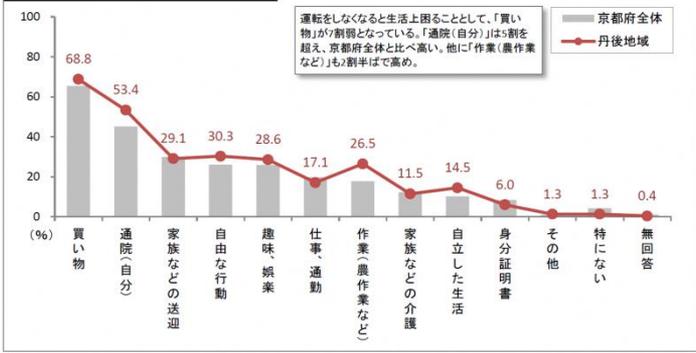


前回免許更新後の運転ミス・事故など

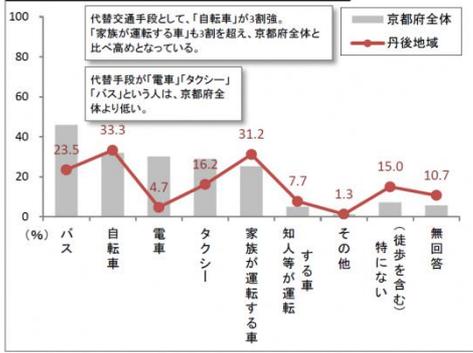


内円:京都府全体 外円:丹後地域
利用に不便が多く

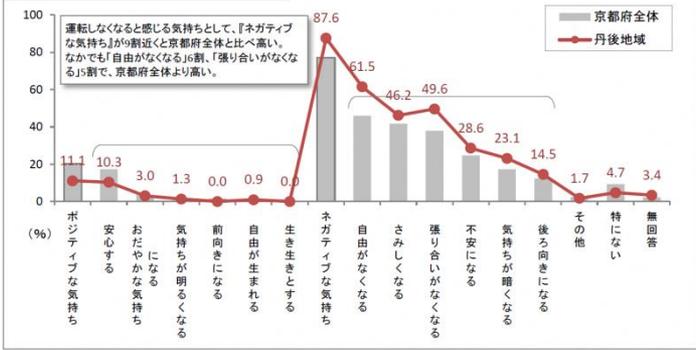
運転をしなくなると、生活上困ること



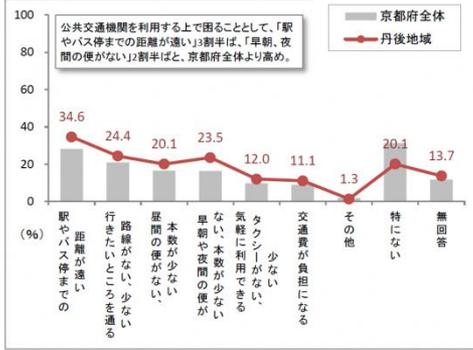
車の運転ができない・しない場合の移動手段



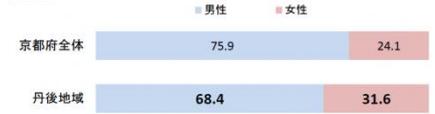
運転しなくなると、感じると思う気持ち



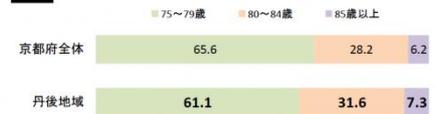
公共交通機関を利用するうえで困ること



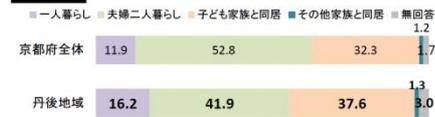
性別



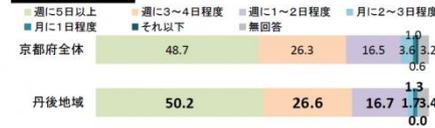
年齢



家族構成



最近の運転頻度



一日当たり合計運転時間



所有車両

